

ダムの風だより



国土交通省 大町ダム

”大町ダム管理所”の近況をお知らせする広報誌です！

今年で大町ダム完成30周年！！

大町ダムは昭和30年代に頻発した洪水をきっかけとして昭和42年より予備調査が始まり、昭和49年にダム建設が開始されました。ダム建設事業が完了したのは昭和61年の3月で、今年完成30周年を迎えます！

今年度は30周年を迎えるにあたり、下流河川流域（高瀬川・犀川・千曲川）住民の皆様を対象とした、ダムの役割・ダム水源地の様子を知ってもらう見学会やトレッキング、地域の安全・安心を考えるシンポジウムの開催を予定しています。皆様のご参加お待ちしております！



大町ダム建設事業 完了 S61.3

大町ダムの主な歩み

昭和34年	8月	台風7号により千曲川流域の大半の箇所では計画高水位を超過。高瀬川、鹿島川、乳川も氾濫し、堤防や護岸が決壊。長野県内で死者65名、全壊家屋1,391戸の被害。
昭和42年		大町ダム予備調査開始
昭和44年	8月	高瀬川の源流部で大雨が降り、葛温泉の旅館3件が流され、500人が孤立。下流でも床上浸水家屋836戸の被害。
昭和47年	5月	大町ダム調査事務所 開設
昭和49年	4月	大町ダム工事事務所 改称
昭和54年	8月	ダム本体コンクリート打設 開始
昭和58年	11月	ダム本体コンクリート打設 完了
昭和61年	3月	大町ダム建設事業 完了
	4月	大町ダム管理所 移行
平成6年	7月～9月	信濃川水系湯水 不特定用水・長野市水道用水の補給を行う 補給量6,600千m3
平成8年	6月25日	洪水調節（梅雨前線） 最大流入量291.6m3/s
平成9年	5月8日	洪水調節（融雪） 最大流入量314.0m3/s 青木湖・木崎湖の水位低下、瀬切れ対策の試験放流 開始
平成10年	5月12日	洪水調節（前線） 最大流入量278.7m3/s
平成11年	6月29日	洪水調節（前線） 最大流入量274.7m3/s
平成18年	7月19日	洪水調節（前線） 最大流入量267.5m3/s 【特例的操作実施】
平成23年	3月11日	東日本大震災 大町市役所震度：2 臨時点検基準に達せず
平成26年	11月22日	神城断層地震 大町市役所震度：4 臨時点検実施 異常無し
平成28年	3月	大町ダム完成 30周年

過去の水害



千曲川出水で水没した高水敷（長野市若穂綿内） S34.8



堤防決壊で氾濫する高瀬川（松川村細野） S44.8

大町ダムの取り組み

○洪水対応（平成18年7月19日）



安曇野市明科萩原（犀川）出水状況

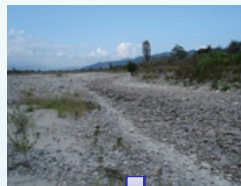
梅雨前線による集中豪雨で犀川が増水し、安曇野市明科など各地で越水する恐れがあったため、河川管理者、発電ダム（東京電力（株））と連携し、大町ダムを含む6ダムで、可能な限り放流量を抑えるという通常操作とは異なる特例的操作を行い氾濫を防ぎました。

○渇水対応（平成6年7月～9月）



大町ダムでは記録的な暑さと少雨により高瀬川流量が減少し、利水基準地点の大出で確保流量を下回ったため、7月10日から不特定用水を、15日から長野市水道用水の補給を開始し、大きな被害の発生を回避しました。

○高瀬川の瀬切れ対応



高瀬川は、河川水量が少なくなる夏から秋頃にかけて、川の水が川底に浸み込んで流れが途中で途切れる「瀬切れ」が発生することがあります。

瀬切れは、水棲生物に大きな影響があることから、大町ダムでは、瀬切れを軽減するため、関係機関等と連携し、魚が移動できる限界の水深15cmを目処に放流量を増やす追加放流を行い、高瀬川の水環境を改善しています。

■30周年イベント予定■ 参加申し込み方法や詳細な行程などは次回以降のダムの風だよりでご案内します。

○高瀬渓谷 夏の3ダムめぐり 8月9日（火）

日頃、ひとまとめで見学できない高瀬渓谷の3つのダムを関係スタッフの案内のもと1日かけて見学します！
【見学場所】

- ①エネルギー博物館
- ②大町ダム
- ③七倉ダム
- ④高瀬ダム
- ⑤新高瀬川発電所

○秋のダム水源地めぐり 10月10日（月）

高瀬ダム湖の末端部駐車場から湯俣までの区間を往復します。当地の環境に詳しい地元ガイドの案内のもと「自然の力・エネルギーと水力発電を巡る人との関わり」を体感し、3ダムの水源地への理解を深めることのできるトレッキングです！

○大町ダム整備30周年記念 シンポジウム 場所：サンアルプス大町 11月19日（土）

ダム整備のきっかけとなった災害の教訓や経緯を伝え、暮らしの安全確保に役立てる方法を考えるとともに、上下流域の関係を意識しながら、時代の変化に応じてダムを有する水源地域を有効に暮らしに活かす方法について考えるきっかけを提供します！

大町ダム情報館の新たな取り組み！

30周年記念パネルを展示

大町ダムは今年で完成から30周年を迎えます。大町ダム情報館では、30周年企画の一つとして、ダムのこれまでのあゆみを振り返るパネル展を5月から開催いたします。

過去の水害の様子、ダム建設前の高瀬川の様子、ダムができるまでの工事の様子、ダムが持つ役割、ダムができたことによる効果など当時の写真等を通じて紹介しますので、当時を思い出しながら暮らしの豊かさや地域の安全・安心など、社会の変化を再認識する機会としていただきたいと思います。



大町ダム建設当時の様子



昭和44年高瀬川水害の被害状況

情報館にAEDを設置

近年、多くの公共施設においてAED（心臓救命装置）が導入されており、大町ダムでも今年3月から1階の情報館入口にAEDを設置致しました。

AEDの操作は、装置から自動で流れる音声ガイドに従い使用していただければ、誰でも容易に扱うことができます。万が一不測の事態が発生した場合には、落ち着いたAED操作をお願いいたします。



情報館入口のAED

今年もスタンプラリーを実施！

大町ダムでは、昨年からスタートしたイベント「おおまち博物館スタンプラリー」に今年も引き続き参加します。今年は、スタンプ3個目で1つ、5個目で更にもう1つの缶バッジがもらえることになったほか、開催期間も延長され、より多くの皆様に楽しみながらスタンプを集めてもらえるようになりました。ぜひ大町ダム情報館にもお越し下さい。

ダムコンの更新が完了しました。

大町ダム管理所では、平成26年度から平成27年度の2ヶ年で、14年ぶりに「ダム管理用制御処理設備（ダムコン）」を全面更新しました。

新しいダムコンでは、4階操作室において従来の操作卓を撤去し、通常操作をパソコンに統一しました。主要な機能は、信頼性の高い工業用のパソコン2台で二重化し、常にバックアップしています。また、中央にあった流域地図表示盤は、4面マルチ大型液晶モニタに更新しました。雨量や水位、ダム状況図などを必要に応じて1画面または4画面に表示切り換え可能で、より機能的になりました。

今年、ご希望があれば、ダム内部見学の際に4階操作室もご案内する事にしましたので、ぜひお声がけ下さい。



更新後のダムコン（平成28年2月25日）

大町ダム新年度計画

大町ダムでは、適切なダム管理を行うために、施設等の補修、更新、維持、点検や調査等を行っています。

今年度は選択取水設備補修工事や貯水池法面对策工事などを計画しています。

平成28年度 大町ダム事業計画	
補修・更新	選択取水設備補修工事、貯水池法面对策工事、監査廊照明更新工事
維持・点検	維持管理作業、機械設備・エレベータ設備・電気通信設備・観測装置点検、ダム総合点検
調査	水辺の国勢調査（動植物プランクトン・底生動物等）



選択取水設備（ダム湖より撮影）

巡視路散策もぜひお楽しみ下さい！

大町ダム右岸の管理用巡視路は、ダムから上流二の沢広場までを「高瀬渓谷の自然」を楽しんでいただくため一般開放し、散策路としてご利用いただいています。

現在、冬期の積雪により閉鎖させていただいていますが、4月23日（土）より開通する予定としています。

この時期は巡視路沿いにトクワカソウやタムシバ、コブシ等の花が見られます。新緑が美しい季節となりますのでお近くにお出かけの際は、お立ち寄り下さい。



トクワカソウの花
（平成27年4月23日撮影）



巡視路解放区間
（平成27年5月28日撮影）



洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしております。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平宇ナロラ大クボ2112-71 TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512

<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>